

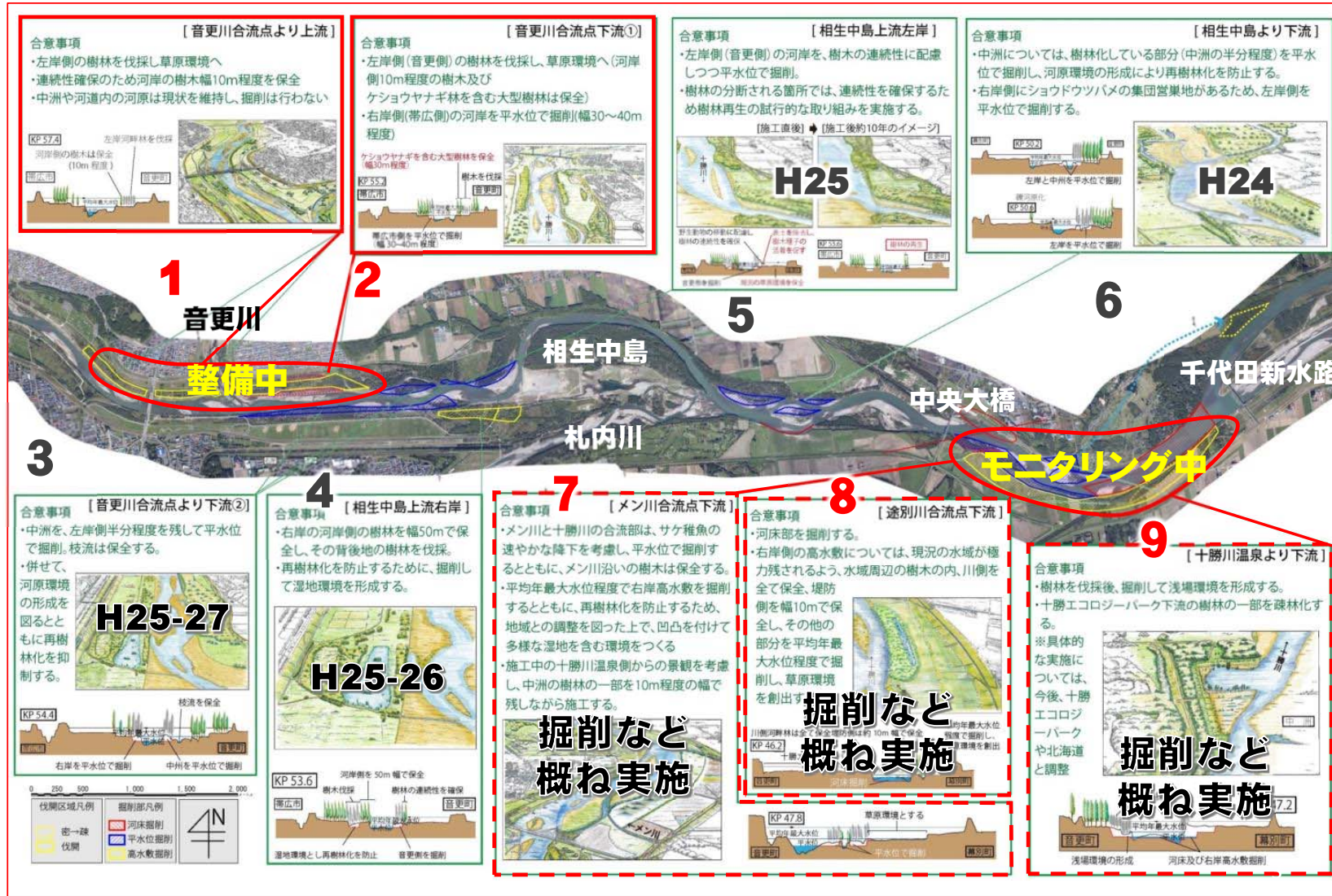
第17回 十勝川中流部川づくり報告会

- ・十勝大橋左岸下流の樹木伐採の状況
庄司 祐樹(帯広出身 25才)
- ・河川におけるゴミの不法投棄
合田 明弘(千葉出身 25才)

令和3年3月13日
帯広河川事務所

十勝大橋左岸下流の 樹木伐採の状況

十勝川中流部川づくりワークショップ 川づくり(案)と整備状況



十勝大橋上流草地復元イメージ図（十勝川左岸 KP56.8-57.7） [平成 25 年度帯広農業高等学校 担当区]

作成：平成 26 年 3 月 15 日
第 4 回十勝川中流域川づくり報告会

第 1 班コンセプト：人と生物が共存できる場所の形成

私達が考えたセールスポイントとしては、河岸沿いに川からの浸水がある程度防くことを目的に地形の切り盛りを付けた所です。

それと山菜や原生花園を配置したゾーンをレイアウトし、訪れた人々を楽しませることで。

また、草地ゾーンとして背丈の高い草を植え小動物の通り道とすることを考えました。

第 3 班コンセプト：「人が出会う里地」「十勝川花火大会の見やすい丘」

僕たち 3 班の考えは、「人が出会う里地」をテーマに考えました。

その理由は、高水敷には遊歩道、低水敷には車が通れる道路があり、人と人が出会う機会があるためです。

もう一つのセールスポイントは、丘を作り花火大会が見える場所を考えました。

山菜ゾーンとヨモギゾーンを川側にした理由は、水分の供給が受けやすいものと考えました。

その他ゾーンは草花をレイアウトしました。

第 5 班コンセプト：自然に触れ合える空間づくり

5 班は、訪れる人々が山菜や花など、自然に触れ合えることをテーマに考えました。

この場所は十勝大橋が近くにありますので、日陰部分を利用し山菜などが出来たら良いと考えここにレイアウトしました。

第 2 班コンセプト：散策しながら自然の空間を楽しむ草原

僕たち 2 班のセールスポイントは、この場所に 1 本しかないサクラの木です。

この場所は「散策しながら山菜などが取れる憩いの場」となるような場所を考え、サクラの木を中心に広い空間を作り、その周辺を散策できる道路を考えました。

道路の間には山菜やささいな草花が咲く空間、それと川沿いには自然に生える草花の場所の 3 つの散策コースを作りました。

私達が考えた散策路は、工事で発生した表土を高さ 50 cm 程度の高さのもの、幅 3.0 ~ 3.5m 程度のものを考えています。

第 4 班コンセプト：タンチョウを、十勝大橋を横断させる

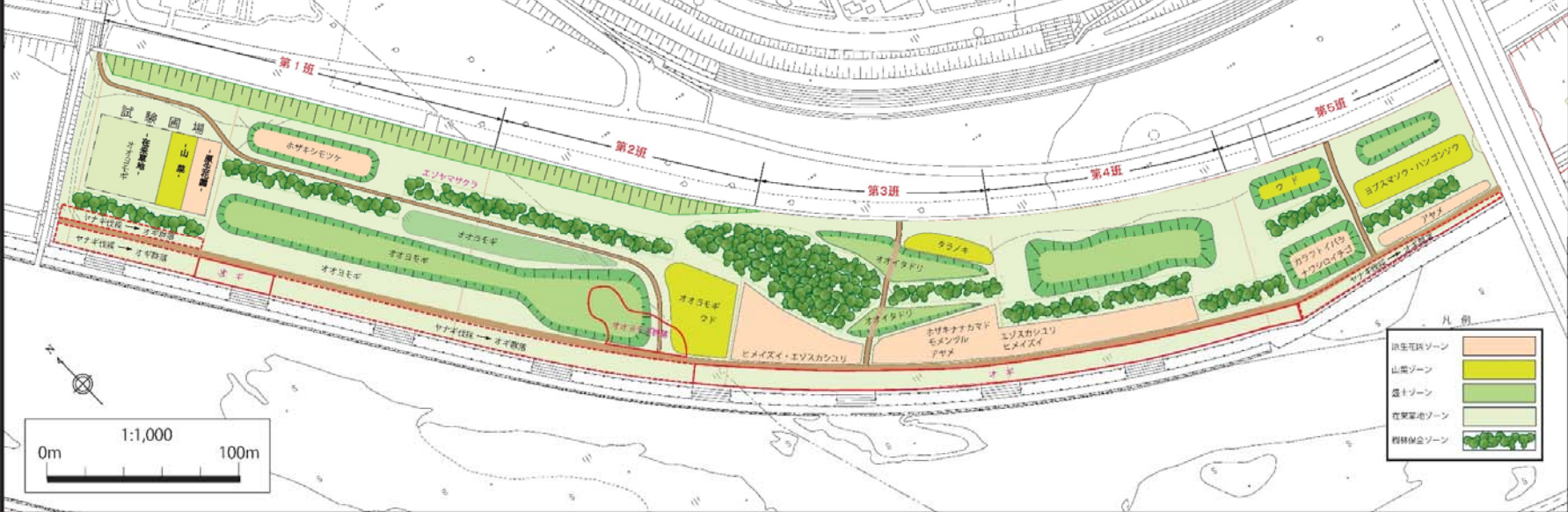
現在タンチョウが飛来している箇所は、相生中島地区まで来ています。

それで私たちはタンチョウを十勝大橋を横断させてこの場所に飛来できる空間を考えました。

タンチョウが飛来する箇所には工事で発生した表土で起伏を作り、その高い部分にドントコンを置き給餌場になる場所を考えました。

結果、保全する樹木帯以外の場所の殆どが飛来ゾーンです。

また河岸沿いに道路がありますので、その周りには原生花園を植え、景観が良くなるように考えました。



音更川合流点下流草地復元イメージ図 (十勝川左岸 KP54.6-55.8) [平成 25 年度帯広工業高等学校 2 年生 担当区]

作成：平成 26 年 3 月 15 日
第 4 回十勝川中流部川づくり報告会

第 1 班コンセプト：工事道路の利活用及び現地の起伏を活かした環境づくり

私達 1 班が考えた平面図は、工事に必要な道路を利活用し散策路または管理用道路の設置を考えました。

この道の沿道にはクサフジを植えチョウ類の生息に配慮しました。もう一つのポイントとしては、地形の起伏の利用と工事で発生した表土等を活用し雨水等が集まり湿地環境の形成を考えました。この湿地の周りには、湿地環境に適用したエゾミソハギ等の草花を植生し原生花園をイメージしました。その他保全樹木帯を除く箇所は自然草原となります。

質問：湿地の周りに描いた範囲はなんですか？
回答：エゾミソハギの在来種で、湿地環境を好む花です。

第 2 班コンセプト：人間や昆虫や小さな生物が集まれる環境づくり

僕たち 2 班は、人間や昆虫や小さな生物が集まれる環境を目指しました。

虫目線で考えた場合、季節に対応した草花等を植え多くの昆虫などが集まれる環境を作り、人目線で考えた場合には、これらの環境の周りを散策できる通路を考えました。散策通路は伐採木のチップ舗装で廃棄物の利活用を考えました。また、草丈の低い草による自然草原で、中には季節に対応した山菜等を植え、時には人間が草原の中に入れる環境も考えました。保全する樹木の中にはエゾヤマザクラがありましたので、その樹木を観賞できるように散策路の一部に休憩所を設置し、そこにはベンチの設置を考えました。

質問：山菜はどんな山菜ですか？
回答：食べられる山菜、例えばフキノトウ、フキ、ゼンマイ等です。

第 3 班コンセプト：昆虫や野鳥など、多くの生き物が集まる環境づくり

僕たち 3 班は、昆虫や野鳥などの生き物が沢山集まれる環境を目指しました。

その結果、クサフジ、スマシ、また、タンチョウが好む草のヨシなど沢山の種類の草を植えることで生き物の楽園を作ろうではないかと考えました。その他として、花と花との間に道を作り高齢者の方々や子供たちが通ってきれいだなと感じられる空間を作りたいと思っています。また、山菜の自生する箇所も作りました。

質問：人間が通るためには道の数が少なく、中に入れないのでは？
回答：多くの大自然を作りたく、木を残すことを優先にあえて道の数を少なくしました。

第 4 班コンセプト：四季を感じられる環境づくり

僕たち 4 班は、「四季を感じられる環境づくり」をテーマとして考えました。

春の木と言えば「サクラの木」、夏の樹木と言えば「・・・」、秋の樹木と言えば「カエデ」、冬の樹木と言えば「イチイ」、その中でも僕たちが注目したのは「桜の木」です。この木をいい感じに鑑賞できる空間を保全樹木帯に「森のトンネル」を考えました。そのトンネルを出た所に広いスペースを設けポイントとし、名付けて「四季折々の出会いゾーン」としました。また、その他周辺の草地部分はヨシとしました。以上こういうものを考えました。

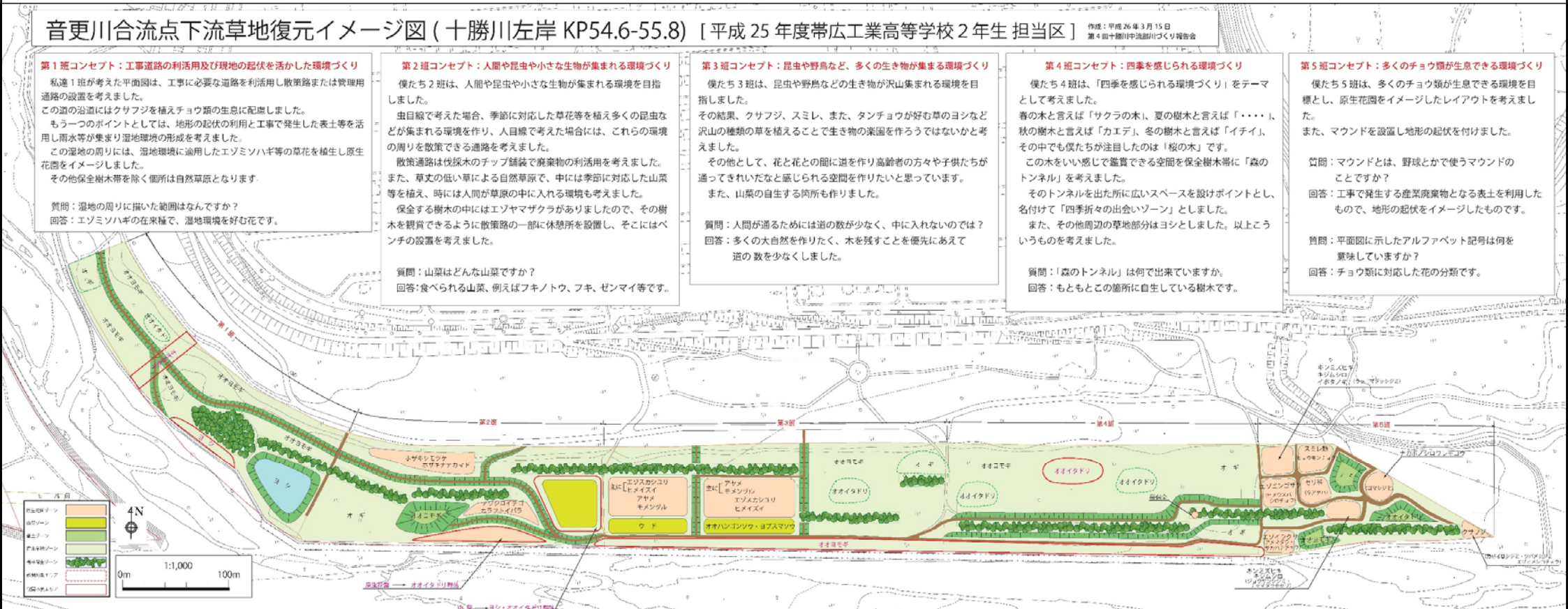
質問：「森のトンネル」は何で出来ていますか？
回答：もともとこの箇所に自生している樹木です。

第 5 班コンセプト：多くのチョウ類が生息できる環境づくり

僕たち 5 班は、多くのチョウ類が生息できる環境を目標とし、原生花園をイメージしたレイアウトを考えました。

また、マウンドを設置し地形の起伏を付けました。質問：マウンドとは、野球とかで使うマウンドのことですか？
回答：工事で発生する産業廃棄物となる表土を利用したもので、地形の起伏をイメージしたものです。

質問：平面図に示したアルファベット記号は何を意味していますか？
回答：チョウ類に対応した花の分類です。







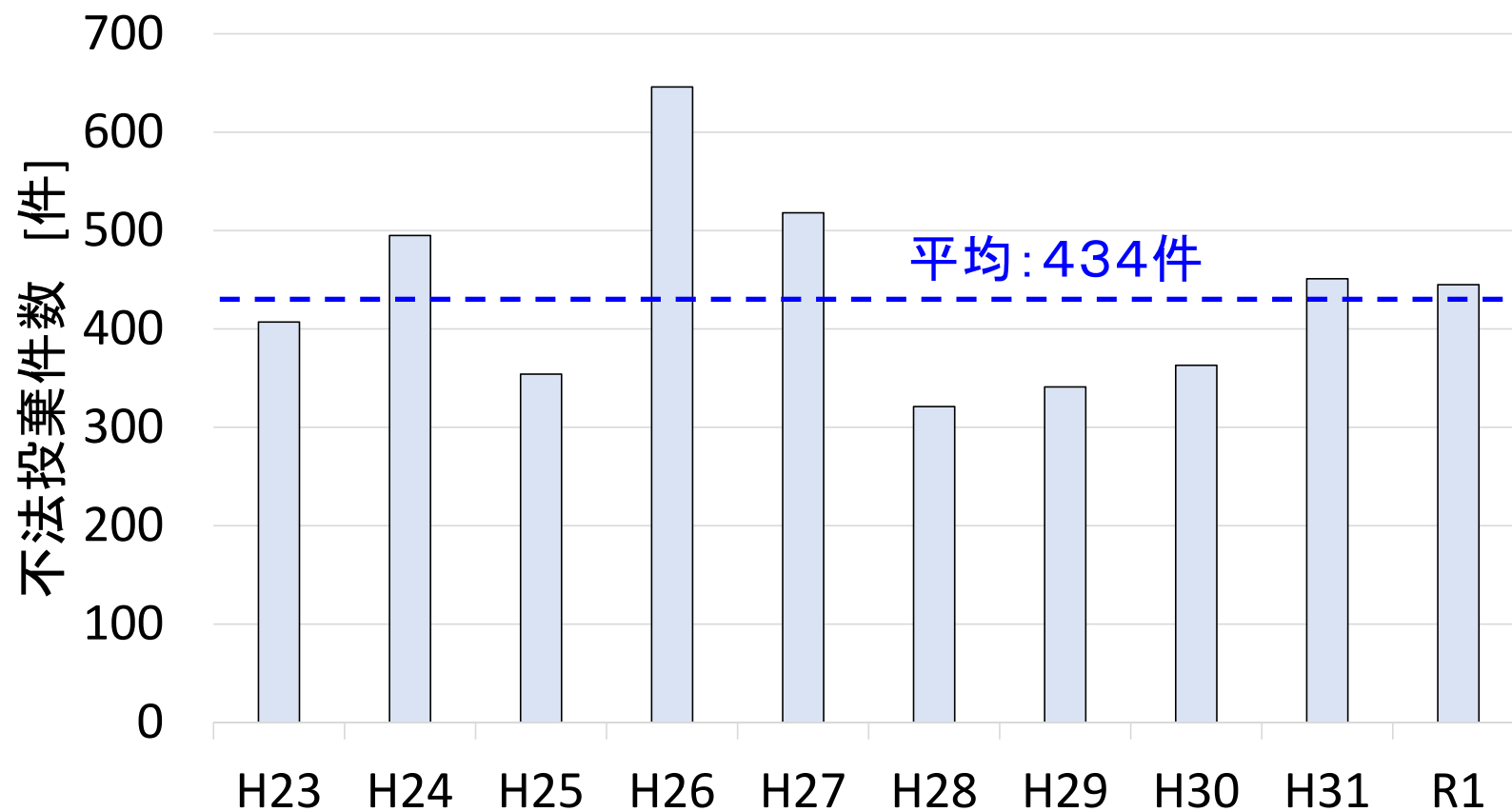
現地の確認

河川における ゴミの不法投棄





10年間の不法投棄平均件数は400件を超える！



川にゴミを捨てる
行為は違法です!!



河川にゴミを捨てる行為は違法です

※各市町村のルールに従い、ゴミ処分しましょう。

河川法(河川法施行令第16条の4)

何人も、みだりに次の行為をしてはならない

河川区域内の土地に土砂又はごみ、ふん尿、畜糞の死体その他の汚物若しくは腐物をすてること

罰則 3ヶ月以下の懲役、または20万円以下の罰金

農産物の処理及び清掃に関する法律

何人も、公園、広場、キャンプ場、スキー場、海水浴場、遊園、河川、池田、港その他の公共の場所を汚さないようにしなければならない。(第5条)

何人も、みだりに農産物を捨ててはならない。(第16条)

罰則 5年以下の懲役、もしくは1,000万円以下の罰金、またはこの両方

監視強化中

令和元年度河川エリア別不法投棄件数
(○内の数字は不法投棄件数を示す)



十勝川流域
ゴミ被害マップ

帯広河川事務所管内

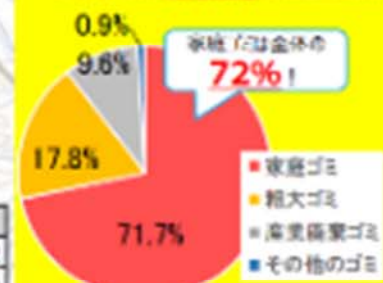
R元年度 不法投棄ごみ処分量

R元年度は※**334m³**を
約**160万円**の処分料を支



× 2

※小学校約2クラス分の算本の百割



R元年度 不法投棄ごみ種類内訳

北海道開発局 帯広開発建設部
帯広河川事務所
〒100-0535 北海道帯広市南10丁目1番地
TEL 0155-25-2294

ゴミをなげないで！

私らもここで
生きてるのさ



帯広開発建設部 帯広河川事務所

帯広市 帯広河川事務所



これまでの対策に加え、さらなる効果的な対策が必要！

不法投棄場所

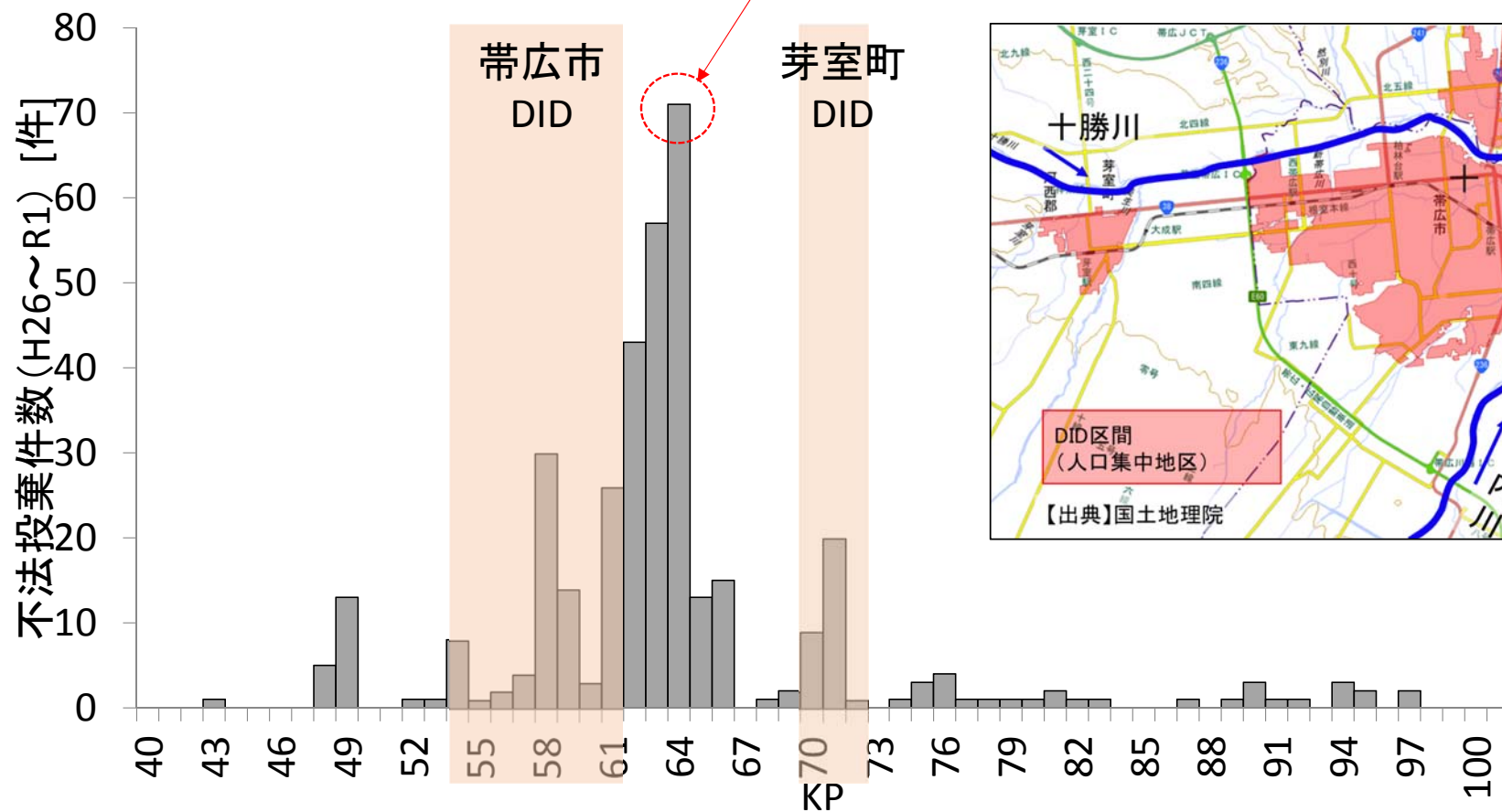
人口集中地区との関係



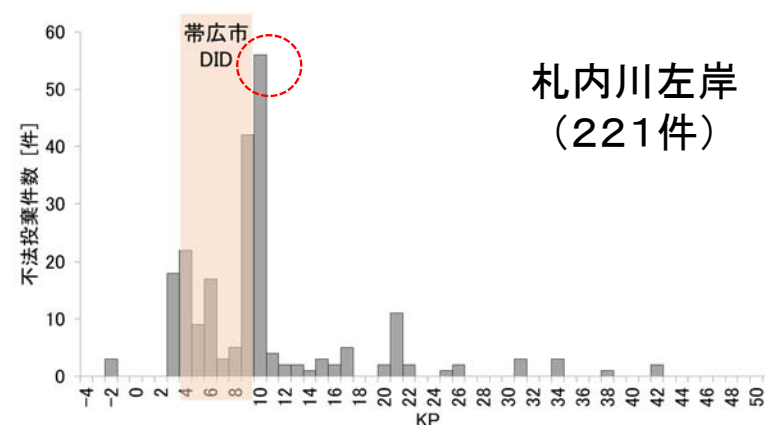
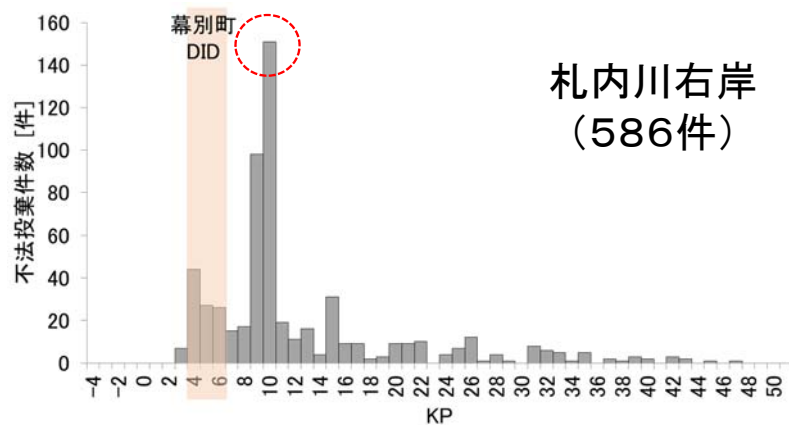
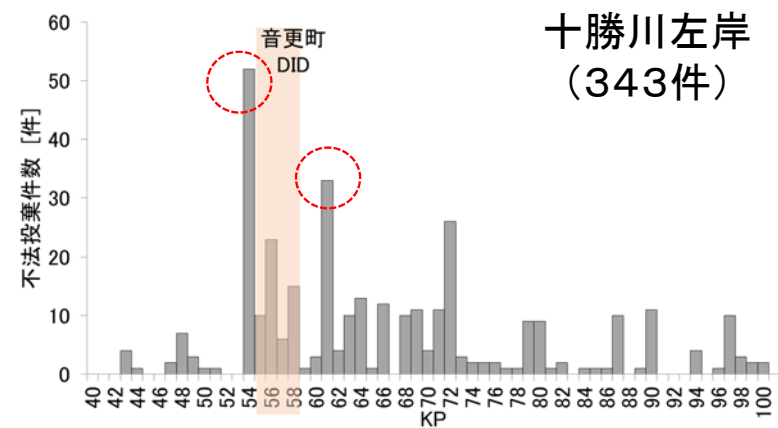
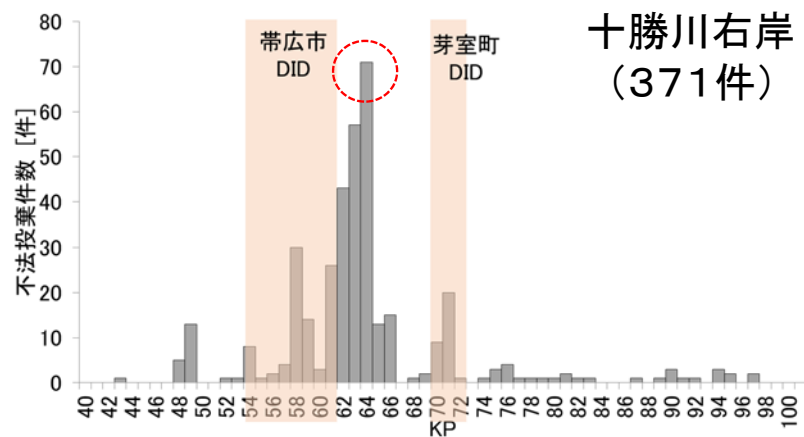
不法投棄場所(十勝川右岸)

全不法投棄件数 371件
(H26~R1)

DIDから3~5km程度離れた場所において、
不法投棄件数が増加している。



不法投棄場所



人口集中地区(DID区間)から、5km圏内の郊外において、
不法投棄件数が増加することが明らかになった！

ご清聴ありがとうございました！



2020年度川ゴミマップ大賞 最優秀賞受賞 記念写真 (2020/7/7)